

大学とともに創る地域の未来キックオフフォーラム
～地方創生・日南町モデルの共創～
2025年2月21日（金）13:00～16:30
日南町役場「交流ホール」

連携大学による取組事例報告

日南町・鳥取大学 連携事業 20年



鳥取大学 地域価値創造研究教育機構
清水 克彦

日南町・鳥取大学 連携事業 20年のあゆみ

【平成16年度】

- H17.2.8 矢田日南町長、内田課長 鳥大訪問
H17.3.23-24 岩崎理事外日南町訪問（情報交換会、にちなん環境林視察）

【平成17年度】

- H17.4.21 本名農学部長、日置教授外日南町訪問、視察（県庁林政課同行）
H18.2.21 矢田日南町長、内田課長来学 学長、岩崎理事、林監事外訪問
H18.2.28-3.1 岩崎理事、林監事外 日南町訪問（意見交換会、町内小学校等視察、**協定の調印式**）

【平成18年度】

- H18.4.20 第1回ワーキンググループ会議（年2～3回、毎年実施）
H18.7.7 地域活性化教育研究センター開所式及び記念講演会（能勢学長講演）
H19.3.25 鳥取大学・日南町連携事業成果報告会（日南町役場交流ホールにて、以降毎年実施）

【平成19年度】

- H19.4.1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（手嶋主事、以降継続）
H19.10 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室（以降毎年実施）



【平成21年度】

- H21.9. 9-11 明治大学「M-Naviプログラム」による日南町訪問
H21.9.16 「日野郡フィールド実践による地域づくりセミナー」過疎プロジェクト報告会開催
H22.2.18-19 明治大学菊地ゼミによる日南町訪問・意見交換

【平成22年度】

- H22.9. 9 日南町議会による鳥大視察、研修会
H22.11.24 日南町議会・教育委員会合同研修会
H23.2. 1 明大・鳥大合同セミナー「日南町地域活性化への提言」

【平成23年度】

- H23.5. 6 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」（～H28まで開催）

【平成24年度】

- H24.8.20 インターンシップ受入（～8.31のうち10日間）

【平成25年度】

- H25.10. 2 日南町森林活用プロジェクト会議の立ち上げ
H25.11.12 四町（日南、南部、大山、琴浦）連携合同企画鳥取大学連携シンポジウム開催（琴浦町にて）

【平成26年度】

- H26. 6. 1 鳥取大学知（地）の拠点整備事業シンポジウムを開催（増原町長出席）



【平成27年度】

- H27. 5. 9 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- H27. 7. 1 地域学部「地域学入門」にて、古川派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明
- H27. 7.15 とりりん・オッサンショウオ木製パネルの鳥大への贈呈式（鳥取大学広報センター）
- H27. 7.15 「公共政策論I」にて、増原町長が『「創造的過疎」のまちづくり』と題して講義
- H27. 7.30 放置財研究会が発足
- H27. 8.20 子ども支援連絡会議を開催（計3回開催）
- H27. 9. 5 日南町まちづくり大会～まち（むら）づくり協議会10周年＆鳥取大学×日南町連携協定10周年
記念事業～（日南町総合文化センターさつきホールにて）
- H27. 10.10 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（5町連携事業）
- H27. 12.11 地域貢献支援事業「コミュニティ力向上に向けたワークショップスキームの開発」大宮で現地
報告会を開催
- H27. 2.29 WG会議が平成27年度鳥取大学長表彰「社会貢献賞」を受賞

【平成28年度】

- H28. 11. 5 秋の図書館祭りに併せ「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて、以降継続）



【平成29年度】

- H29. 8. 5 日野川水系における水質調査報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- H29. 9.15 地方創生政策体験学習を実施（9.15～17までの3日間、日南町地内にて、～R5）
- H29. 12. 9 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）

【令和元（平成31）年度】

- R1. 7. 1 日通共生の森10周年記念事業生態系調査（7/8,13、8/22、9/17、10/25）
- R1. 10. 6町制60周年記念式典アトラクションコーナーにて、鳥取大学ジャズ＆フュージョン研究会が演奏
- R1. 10.20 にちなん日和2019にて、鳥取大学吹奏楽団ウインドアンサンブルが演奏
〈中止〉連携事業成果報告会

【令和2年度】

- R2. 4. 1 日南町福万来におけるゲンジボタル生息水域の調査（日南町福万来地内にて）
- R2. 8.21 中山間地域における課題解決及びSDGs推進に関する連携協定
- R2 日南町ショートタイムワークプロジェクト

【令和3年度】

- R3. 4. 1 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築



【令和3年度】

R3. 4. 1 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築

【令和4年度】

R4. 4. 1 200年の森樹木調査事業（日南町阿毘縁地内にて）

R4. 4. 1 広報の折込チラシを活用した食防災（一般防災含む）に関する啓発の実践

【令和5年度】

R5. 4. 1 自治組織の連携と地域団体の維持を目的とした地域おこし協力隊の推進

【令和6年度】

R6. 4. 1 持続可能な上下水道体系の在り方検討

R6.8.22 生き抜く力育成事業「サマースクール2024」



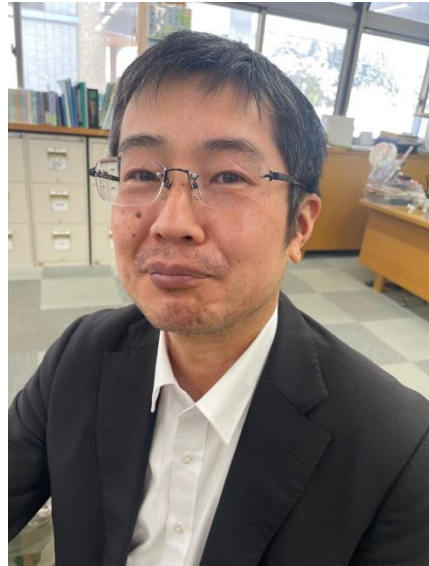
派遣職員のみなさん

手嶋 孝夫

教育委員会事務局

鳥取大学派遣研修 平成19年度

当時の能勢学長、林理事をはじめ、多くのみなさんに変にお世話になったことは今でも忘れません。役場にいるだけでは経験できないような色々な経験をさせていただきましたこと大変感謝しています。鳥取大学と日南町の関係がこれから増々発展することを願っています。



高橋 裕次

農業委員会事務局

鳥取大学派遣研修 平成20年度

派遣職員2代目として1年間お世話になりました。良き指導者や先輩、同僚に恵まれ大変感謝しています。振り返ってみると、交流の場（飲み会）が多かったな～（笑）



荒金 太郎

まち未来創造課

鳥取大学派遣研修 平成21-22年度

鬼の林から、仏の林へ。

（まだ亡くなってませんが）

今の自分があるのは林先生のおかげだと思っています。地方公務員としての気構えを教えていただいたこと、そして今の（まだ初婚ですが）嫁さんとの出会いをいただいた鳥取大学に感謝感謝です。



石倉 嘉寛

総務課

鳥取大学派遣研修 平成23-24年度

日南町のお米はやっぱり美味しくて、すっかり太ってしまい大学方面に行く足が遠のいているこの頃、当時の事を懐かしく思っています。先生方をはじめ、職員の皆さまや多くの方に助けていただいたおかげで、たくさんの事業に取り組むことができました。本当にありがとうございました。



川上 将典

まち未来創造課

鳥取大学派遣研修 平成25-26年度

H25～26の2年間、週3回鳥大に通わせていただいた経験が今の私の土台となっています。

当時、大学と協定のあった日南、南部、大山、琴浦に鳥取県を加えて実施した4町連携事業は、それぞれが地元コミュニティや事業所を走り回り、大学の知を活かして取り組む、まさに産官学連携により地域課題の解決を目指す姿だったと思います。これからもよろしくお願いします。



古川 則仁

農林課

鳥取大学派遣研修 平成27年度

天野先生といつも食事をご一緒させていただき、とても楽しかったです！

古川モータースのオイル米をお裾分けしたことも懐かしいです。

山田さん、前川さんにご指導いただいたことも、今となっては良い思い出です！



佐伯 晋介（退職）

鳥取大学派遣研修 平成28-29年度

牧 恭平

建設課

鳥取大学派遣研修 平成30-31年度

学長が代わられたり、片野先生が転勤になられたり、増原町長が亡くなられたり、いろいろと転機が多い派遣期間中でしたが、他の自治体の職員さんとも仲良くさせていただき、思いで深い2年間でした^^ 嫁さんとも結婚したのがこの頃でした。



中嶋 玄大

農林課

鳥取大学派遣研修 令和2-4年度

日置先生、清水先生には本当によくしていただき、改めて感謝申し上げます。

自分自身、成長できた2年間でしたし、もっともっと積極的な動きができればと後悔もありますが、2年間学ばせていただいたことを、これからのまちづくりに生かしていきたいと思います！

写真は、コロナ禍でのお米の応援プロジェクトです！



沼田 瑞穂

地域づくり推進課

鳥取大学派遣研修 令和5年度

何もできずに・・・担当として申し訳なかったです。
鳥取大学の皆さんには、本当によくしていただき、
感謝感謝です！
風紋祭とても楽しく参加させていただきました！
今後もぜひ、かかわらせていただければ嬉しいです！



田中 美咲

まち未来創造課

鳥取大学派遣研修 令和6年度

仕事が遅くて申し訳ありません・・・。
庁外の方と交流する機会が少ないので、鳥大連携担
当は、職員にとっても貴重な機会だと思います。
来年も担当であれば、さらにさらに頑張ります！



鳥取暮らし早期体験学習（地（知）的好奇心育成のための早期体験学習）

H27 地（知）の拠点形成事業
（COC事業）採択
・地域志向科目を設定

【目的】

鳥取県内の日南町、大山町、
琴浦町、南部町、智頭町、八
頭町の6町をフィールドとし
て、実際に現地に赴き、体験
学習を実施し、地域の実情に
接することにより、各町の特
色ある自然や産業についての
教養を身につけるとともに、
地域を学ぶ動機付けを行うこ
とを目標とする。



鳥取暮らし早期体験学習 ～授業のようす～

事前学習



体験学習



報告会



振り返り



鳥取暮らし早期体験学習 ～報告会資料例～



日南町 データ 事前学習

- ・公共交通、自宅までバスが迎えに来るという仕組みを11月～。
誰がいつ乗ったかなどを調査
- ・日南町の面積の90%が森林
- ・鳥取県の面積の1/10を占める（鳥取市に次いで県内2位）
- ・森を使った循環型の社会を考えている
→森林教育にも力を入れる

日南町 現地調査 報告

◇近くの山

- ・チェーンソー使ってみて木は本当に立派で、がっしりしていると感じた
- ・森林を見た時に、土壌を見ると、手入れがされているかされていないかが分かることを学んだ
- ・杉の木のチップを貰って家で保管するためにインターネットで調べたが、どのサイトにもとても難しいと書いていて、林業はやはり大変であると感じた



日南町 SWOT分析 考察

O

ICTが進んでいる × 働き手不足

W

T

外国産の安い木 × 日南町の豊かな自然と日本でも有数の林地

S



日南町 現地調査 報告

◇調査日
2020/8/2(日)

◇訪問先

にちなん中国山地林業アカデミー（説明・質疑応答・昼食）
近くの山（林業体験・説明・質疑応答）
町役場（見学）
道の駅（散策）

日南町 現地調査 報告

◇町役場（見学）・道の駅（散策）
道の駅のソフトクリームの値段が高い



SDGsとの連携をどうして傘で表したのか？（←疑問・未解決）

日南町 提案

ICTで都市と日南をつなぐ

可能性は∞

日南町 データ

○人口・世帯数（令和2年6月時点）
4,427人（男2,081人 女2,346人）
1,988世帯

○高齢化率（令和2年6月時点）
50.8%

○変遷

大正時代の合併で日野村、山上村、大宮村、阿毘緑村、多里村、福栄村、石見村の奥日野7か村となり、昭和30年に一部が合併、「日南町」と「高宮村」が生まれ、さらに5つの町村が合併し、現在に至る。



日南町 現地調査 報告

◇にちなん中国山地林業アカデミー

- ・木をせりて売ったり、売れない木は燃料や紙の原料にして木を消費出来る場面ではほとんど使っていない
- ・必要家畜の量
杉→松→杉→松 少
- ・山では赤松が主に見られ、海では黒松が主に見られる
- ・現場で考えるのではなく、国産で考えなければ鳥取の木は鳥取で使わないといけないということになり、現状として木材消費に困っている。この点で国に不満を抱えている。
- ・ICT林業は採算が合っていない
- ・森林が増えると、森林にすむ動植物も減る
- ・林業大賞校は18校あるが、指導する人が公務員で、林業経験者が少ないため林業従事者のスキルアップが望めない状況となっている。
- ・算数の授業で、木を持ち帰ってその体積を求めることで3次元の図形への親しみが湧き、少し進んだ勉強ができる



日南町 SWOT分析

プラス要因		マイナス要因	
内部環境	S 強み → 伸ばす	W 弱み → カバー	T 脅威 → 回避
	・ヒメダラがいる ・豊かな森林がある ・RCTが進んでいる ・県民に森林教育が行われている ・県民の90%が山好きである ・日本でも有数の林業の盛んな地域である ・山脈の90%が山好きである ・日本においてはハイレベルな林業を学ぶことが出来る ・中国山地林業アカデミーがある ・鳥取県の木材産出量（鳥取県に次いで県内2位の産出量）		・公共交通機関の不便さ ・採算の合っていない森林事業が行われている ・林業に関係を持つ人が少ない ・主入りがされていない森林が多い ・家畜の増やし方に関する知識が乏しい ・高齢化率90%を超える2人1人は高齢者が増えている ・公共交通機関が限られている→車必須 ・人口減少、少子高齢化が進んでいる
外部環境	O 機会 → 生かす		
外部環境	・SDGsの推進が全国的に行われている ・RCTが進んでいる		
			・木材価格の暴落 ・林業従事者の減少が進む ・森林への理解度の低下 ・外国産の安い木 ・予想外の大雪

